

北九州市立早鞆中学校

平成30年度 学校評価結果の公表

学校として、今回の学校関係者評価結果を真摯に受け止め、来年度の教育活動に生かすとともに、保護者・地域に信頼される学校づくりに努めてまいります。

今後とも本校の学校運営に対しまして、保護者・地域の皆様のより一層のご理解、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

なお、以下に平成31年2月27日（水）に開催しました学校関係者評価委員会の評価結果を公表します。

平成30年度 北九州市立早鞆中学校 学校評価計画

- 1 学校運営説明会の実施（PTA総会時）
※平成30年4月21日（土）11:00～
- 2 第1回学校関係者評価委員会（6月上旬）
※平成30年6月19日（火）17:30～
- 3 学校自己評価の実施（12月下旬）
- 4 第2回学校関係者評価委員会（2月下旬）
※平成31年2月27日（水）10:00～
- 5 学校運営報告会（2月26日に開催したPTA理事会にて報告）
- 6 学校関係者評価結果の公表
(3月18日学校だより配付・3月25日学校HPに掲載)

平成30年度の重点的な取組

- ① 平成29年度の学校経営方針を継続する。
平成30年度早鞆中学校「指導の重点」より
 - ESDの視点に立った「心の育ち」を支える教育活動の推進
 - 新学習指導要領の周知・徹底（中学校：平成33年度より全面实施）
※平成31年度より「特別の教科 道徳」の実施
 - 積極的な業務改善（教員の長時間勤務の解消）
- ② スクールプランに基づく共通実践とPDCAサイクルの確立
 - I 学力向上に関する取組
 - II 体力向上に関する取組
 - III 心の育ちに関する取組
 - IV 学校組織と研修に関する取組

＜自己評価：学校評価アンケートについて＞

自己評価の資料とするため、学校評価計画に基づき、12月に保護者・生徒・教職員に同項目について、アンケート調査を実施しました。

①アンケート内容

「心の教育」「学習」「保護者と学校の関係」（生徒については「生活習慣」）について、保護者・生徒・教職員それぞれの視点から、「A：とてもあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない」の中から回答していただきました。

②アンケート集計結果【回答率82%】

下の表は、各項目においてA・B・C・Dの数値を%で表しています。

（保護者・生徒・教職員における項目ごとの最高数値に色を付けています。）

評価項目	A(保護者・生徒・教職員)			B(保護者・生徒・教職員)			C(保護者・生徒・教職員)			D(保護者・生徒・教職員)		
①あいさつ	46.0	61.9	18.2	50.7	30.9	63.6	2.7	4.6	18.2	0.7	2.6	0.0
②清掃美化	51.0	47.4	45.5	47.0	45.4	45.5	2.0	6.2	9.1	0.0	1.0	0.0
③人権意識	33.6	70.1	27.3	53.7	28.4	72.7	12.1	1.5	0.0	0.7	0.0	0.0
④相談機能	29.5	26.3	9.1	56.4	38.7	72.7	12.8	25.3	18.2	1.3	9.8	0.0
⑤自学の心	38.7	22.3	36.4	55.3	46.6	63.6	6.0	22.8	0.0	0.0	8.3	0.0
⑥体験活動	43.0	51.0	27.3	51.0	35.6	63.6	5.4	9.8	9.1	0.7	3.6	0.0
(2)学習	A(保護者・生徒・教職員)			B(保護者・生徒・教職員)			C(保護者・生徒・教職員)			D(保護者・生徒・教職員)		
⑦学習環境	27.1	54.6	36.4	50.0	40.2	63.6	20.8	3.6	0.0	2.1	1.5	0.0
⑧授業規律	21.1	53.6	54.5	59.2	36.6	36.4	16.9	7.7	9.1	2.8	2.1	0.0
⑨学力定着	23.6	31.4	63.6	65.0	54.6	36.4	10.7	12.9	0.0	0.7	1.0	0.0
⑩考査前学習	34.0	55.2	45.5	55.3	30.9	54.5	9.2	11.9	0.0	1.4	2.1	0.0
⑪家庭学習	28.7	32.0	18.2	57.3	42.3	81.8	11.9	23.2	0.0	2.1	2.6	0.0
(3)保護者と学校	A(保護者・生徒・教職員)			B(保護者・生徒・教職員)			C(保護者・生徒・教職員)			D(保護者・生徒・教職員)		
⑫行事参観	30.0	82.0	23.5	48.0	15.5	60.0	20.3	1.5	10.0	10.1	1.0	0.0
⑬情報発信	18.2	63.9	17.6	50.0	26.8	81.8	8.2	6.2	0.0	0.7	3.1	0.0
⑭家庭連絡	36.4	71.1	23.5	45.3	20.6	63.6	6.8	6.2	0.0	1.4	2.1	0.0
⑮PTA活動	36.4		17.6	47.1		27.3	11.8		27.3	5.9		9.1
⑯部活動	9.1		23.5	45.0		63.6	13.4		27.3	2.0		0.0
⑫うがい・手洗い・歯みがき		82.0			15.5			1.5			1.0	
⑬早寝・早起き朝ごはん		63.9			26.8			6.2			3.1	
⑭基礎体力		71.1			20.6			6.2			2.1	

学校評価アンケート（アンケート項目）

	項 目		
	保護者	生徒	教師
「心の教育」について	①生徒は、登下校時などで挨拶を積極的にしている。	①登下校時などであいさつを積極的にしている。	①生徒が、自主的に挨拶ができるよう指導にあたった。
	②学校は、清掃美化・掲示物など校内環境整備をしっかりと行っている。	②そうじをまじめに行っている。	②清掃美化指導や掲示物など、学級・廊下の環境整備に努めた。
	③生徒の人権意識を高め、いじめのない学校づくりの取組が充実している。	③思いやりをもって、いじめのない学校生活を送っている。	③生徒の人権意識を高め、いじめをなくし、生徒自身がよりよい学級・学年をつくろうとする心を育てる指導に努めた。
	④学校は、生徒の悩みや相談に応える機能が充実している。	④学校は、悩みや相談ができる場になっている。	④生徒の悩みや相談の内容をよく理解し、指導や助言を行った。
	⑤学校は、学力も心の問題と捉え、自学週間や自学コンクール、読書啓発等、生徒の自学の心を育むための取組を積極的に行っている。	⑤自学週間や自学コンクール、読書啓発等、自学の心を育むための取組に積極的に参加している。	⑤生徒の学力向上も心の問題と捉え、自学や読書等の指導に努めた。
	⑥学校は、生徒の心を育み、自立を促すための体験活動を積極的に行い、活動内容も充実している。	⑥花植えなどのさまざまな体験活動に積極的に参加し、充実した活動を行っている。	⑥生徒の実態等を踏まえ、生徒一人一人の心を育み、自立を促す指導に努めた。
「学習」について	⑦生徒は、落ち着いたある学習環境の中で、やる気を出して授業に臨んでいる。	⑦やる気を持ち、落ち着いた授業に臨んでいる。	⑦学級の生徒の実態や学力等に応じた「わかる授業」を心がけた。
	⑧生徒は、チャイムとともに席に着き、私語や忘れ物をしないなど、授業への心構えや規律ができている。	⑧チャイムとともに席に着き、私語や忘れ物をしないなど、授業への心構えや規律ができている。	⑧授業規律を確立し、授業に臨む姿勢（構え）をつくる指導に努めた。
	⑨基礎学力定着への取組（漢字や計算の基本問題、読書活動や読書への啓発等）は、効果がある。	⑨基礎学力定着への取組（漢字や計算の基本問題、読書活動や読書への啓発等）の効果が生まれている。	⑨担当教科の基礎・基本及び基礎学力の定着に努めた。
	⑩定期考査前に、生徒会学習委員会が全教科の予想問題を作成し、考査前の学活などで自学自習する取組は、生徒に意欲を持たせている。	⑩定期考査前に生徒会学習委員会が作成した予想問題に、考査前の学活などで意欲的に取り組んでいる。	⑩定期考査に向けて計画的な学習が行われるよう指導に当たった。
	⑪授業の復習や宿題、定期考査前の計画的な学習など、家庭学習を充実させて行っている。	⑪授業の復習や宿題、定期考査前の計画的な学習など、充実した家庭学習を行っている。	⑪家庭学習や自学ができるよう宿題や学習計画について指導した。
「保護者と学校」について	⑫行事や参観・懇談など、オープンスクールを毎月1回以上設けているが、子どもの学校での様子を直接見られるようにして参加している。	⑫うがいや手洗い、歯みがきを、毎日しっかりと行っている。	⑫学校の教育活動について理解を得られるよう配慮できた。
	⑬「学校だより」「生徒指導だより」「学年・学級通信」「保健だより」等によく目を通し、学校の取組や子ども達の活動の様子を知っている。	⑬健康のために、早寝・早起きに努め、しっかり朝ごはんを食べて登校している。	⑬学校の教育活動についての広報や啓発の機会は適切であった。
	⑭学校（担任）は、子どものことについての相談に応じてくれ、意見交換を率直に行うことができる。	⑭体育の授業や部活動で、基礎体力が向上するよう努力している。	⑭保護者との連携を密にし、理解と信頼を得ることができている。
	⑮PTAあいさつ運動や理事会、家庭教育学級等、PTA活動が充実しており、PTA活動に可能な範囲で参加している。		⑮生徒の健全育成に向けて、学校の教育活動とPTA活動との連携が図れている。
	⑯生徒がいきいきと活動できるための部活動が充実している。		⑯保護者と連携し、生徒がいきいきと活動できるための部活動経営ができている。

平成30年度 学校評価アンケートに関する学校所見

【心の教育について】

- ◆ 早稲中学校の伝統的な行事やユネスコスクールとして大切にしたい取組の趣旨を明確にして、生徒たちが自ら受け継いでいく魅力ある行事・取組へと進化（深化）させるように努めます。
- ◆ 「あいさつ6 DAYS」等の生徒会活動と関連付けて、あいさつに対する教職員・生徒の意識を高めるように努めます。
- ◆ スクールカウンセラーの来校日を周知します。※生徒だけでなく、保護者にも広く周知します。
- ◆ 「いじめアンケート」や「生活アンケート」等を活用して、子どもの様子を把握し、いじめ等の早期発見、早期対応に努めます。
- ◆ 教師のカウンセリング技術の向上（カウンセラーによる職員研修）に努め、生徒との信頼関係を築く場となるようにします。
- ◆ 今後も、学校での生徒の様子について、保護者との連携を密に行います。
※ 子どもの頑張りについても共有します。

【業務改善について】

- ◆ 部活動の在り方については、来年度より大きく変わります。「わかる授業」の実践や教育相談、補充学習等の充実に努めるためには、教師が子どもと向き合う時間の確保が必要となります。
部活動の趣旨をご理解いただくとともに、練習時間や休養日の設定など、今後の部活動の運営に関して、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

【学習（学力向上）について】

- ◆ 「『わかる授業』授業づくり5つのポイント」を踏まえた授業づくりに積極的に取り組みます。
※ 今後も「授業構想シート」を活用した全職員による授業研究を推進します。
- ◆ 保護者や地域の方々が、学校行事や日々の授業の様子を参観できるように、学校開放週間を適切に設定します。（来年度より「学校開放週間」を各学校で設定することになります。）
また、生徒たちの様子や学校の情報を伝える手だて（通信や学校ホームページ等）を充実させます。
※ 学校が配布したプリントを、生徒が確実に家庭に持って帰る・保護者の手元に届くように、今後も継続して生徒へ声かけを行います。
- ◆ 学校での取組について保護者へ情報を発信するとともに、家庭学習と関連付けて、基礎学力の定着に努めます。家庭学習や読書活動の習慣づくりに、家庭と連携して取り組みたいと考えていますので、ご協力をお願いします。
- ◆ 基礎学力の向上に関する取組や「早稲ノート」の取組による成果が実感できるように、根気強く、継続して取り組みます。

【生活習慣（体力向上）について】

- ◆ 基本的な生活習慣の定着・自らの健康管理に努める意識の醸成・生涯にわたって「運動が大切である」という意識を持ち続ける子ども達の育成に努めます。



平成30年度 学校関係者評価委員会の評価結果

※ 協議において、学校評価委員の方々からいただいたご意見を順不同で記載します。

(記述内容は一部抜粋しているものもあります。ご了承ください。)

- ◇ 「心の育ち」を支える教育活動は、大変充実していると思います。子ども達の心が豊かに成長していると感じます。また、時代とともに新たな課題が見つかる中、その教育活動の必要性を改めて思います。「いのちの授業」や新年度からの道徳の授業にも大いに期待しています。
- ◇ ESDやSDGsなど、新しい視点で公教育を推進することが求められていると思います。教職員の皆さんの負担も増え、反面、働き方改革も求められて、大変だと思います。先生方も心身ともに健康に気を付けて、教育の向上に努めてください。
- ◇ 働き方改革、部活動改革が行われる中を、先生方は大変ご苦労なさっていることと思いますが、今後変わらぬ熱意をもって、ご指導くださいますようお願い申し上げます。
- ◇ 入学式や体育大会、合唱コンクールでの生徒の様子を拝見させていただいておりますが、学校全体が落ち着いており、生徒が安心して登校し、学習に臨んでいると思っております。今日は、校内巡視と授業参観をさせて頂き、よりその思いが強まりました。学年により、それぞれの個性を感じました。今日は巡視ということで、普段の顔と違う面を見せていたとも思いますが、大人の目を意識して行動を変える子どもらしさを感じています。
- ◇ 授業参観の中で、生徒に発言させる場面がありましたが、生徒の声に元気が感じられませんでした。
- ◇ 学校開放週間や保護者に子ども達の様子を見に来てもらうことを積極的に呼びかけるとよいと思います。
- ◇ 小中連携の機会がさらに増えるとよいと思います。教職員・保護者・地域の方々との連携についても同様です。
- ◇ 「早鞆ノート」は素晴らしい取組だと思えます。学力向上に期待します。
- ◇ 携帯・スマホによる陰湿ないじめや中傷は、発覚しにくい面がありますので、少しでも事実があれば早い対応をお願いします。
- ◇ スマホやタブレットの導入が目前に迫っています。「心の教育」でのメディアリテラシーや、健康面での指導がより求められ、様々な問題が出てくることが予想されます。この問題は生徒だけの教育では対策不足だと思っています。どのような危険が潜んでいるかを、子どもとともに保護者も知ることが大事ですので、家庭と連携をとって進められるとよいと思います。
- ◇ 「心の教育」「保護者と学校」のアンケート結果で、「とてもあてはまる」「だいたいあてはまる」の数値が高いことから、先生方はご自身の頑張りを謙虚にとらえられていると感じます。
- ◇ 「学校評価アンケート」については、柱ごとに細かい項目を設けて、生徒・保護者・教師の意識調査がなされています。また、データを分析し、現在の学校教育の課題を把握し、今後活かす目標設定が的確になされていると思います。結果のフィードバックも早鞆中学校だよりなどでなされると思うので、学校と保護者がより一層協力していけることと思います。

第2回学校関係者評価委員会において、出席されました5名の学校関係者評価委員（学校評議員）の方々より、本年度の学校運営と学校の自己評価について、適切であるとの評価をいただきましたので、ご報告いたします。

来年度もどうぞよろしく願いいたします。